

今後の健康づくり施策の検討について（案）

1 健康ちば21（第2次）最終評価からみえた現状と課題

- ・ 平均寿命及び健康寿命は男女ともに延伸している。さらなる延伸を図るため、全ての県民が健やかで心豊かに生活できるよう、引き続き全世代での健康づくりが必要。特に、健康に関心が薄い者などへのアプローチが必要。
- ・ 個人の生活習慣、特に「栄養・食生活」「身体活動・運動」分野の指標改善が不十分であった。健康づくりに関する活動に取り組み自発的に情報発信を行う企業・団体が増加していることから、これまでの取組に加えて、これらの企業・団体や大学等も含めた連携強化により、さらなる健康づくりを推進していく必要がある。

2 今後の県の取組の方向性

これまで下記3点について県として取組を進めてきたが、健康日本21（第3次）では「誰一人取り残さない健康づくり」という視点が示されたことから、これまでの健康づくり施策をブラッシュアップしていく。

- ・ 健康づくりに無関心な層へのアプローチの強化
- ・ 地域の特性に応じた健康づくりの推進（保健所圏域地域・職域連携推進事業の活用）
- ・ 健康づくりに関する活動に取り組み企業・団体等、多様な主体との連携及び協力

3 検討事項（案）

- ・ 効果的なメニューの検討
（既存事業を活用したメニュー、
先進事例を参考にしたメニュー等）
- ・ モデル事業の実施の検討
- ・ 普及啓発に向けた検討 等

・ 健康ちば地域・職域連携推進協議会及び健康ちば21（第3次）計画策定作業部会での御意見を踏まえながら検討。
・ 次期計画と施策を連動させる。

<参考> 健康日本21（第三次）の全体像

